

兵庫県立大学知の交流シンポジウム 2020 連携セミナー 第9回



日時 2020年12月3日(木) 17:00~18:00

内容

1)「ベイズ推論に基づく製品信頼性の知識形成とつくり込み技法」 経営研究科 貝瀬 徹

製品の故障や不具合を扱う信頼性について述べさせて戴きます。この背景として、市場での故障や不具合の発生が安全性を脅かし甚大な問題となっていることが少なくなく、製品設計の段階での未然防止が必要となっていることが挙げられます。そこで、設計に関する経験的な知識を企業内で集め形成する方法と、これらを基に具体的な故障データを用いたベイズ推論について発表させて戴きます。

2)「実践的データサイエンス人材育成と情報科学教育について」 社会情報科学部 笹嶋宗彦

データサイエンス教育を文系理系問わずできるだけ多くの学生に、かつ、実践的に教育すべしとの大号令が政府から発せられており、統計学、経営学についてはカリキュラム、教材共に整ってきたものの、実践を見据えた情報科学教育については、各大学任せで具体的な方針が無いのが実情である。これら課題と、社会情報科学部2年弱の教育で見えてきた解決方針について論じる。

3)「多様・高信頼な情報獲得のための検索行動理解と支援」 社会情報科学部 山本岳洋

フェイクニュースやフィルターバブルに代表されるように、ウェブ情報の信頼性や偏りが大きな社会的問題となっています。この課題を解決するためには、人々がウェブ情報にどのような影響をうけ、また、どのように付きあっているのかを知る必要があります。本講演では、ウェブ検索エンジンを対象としてそれらを明らかにする研究について紹介いたします。

参加申し込み ……[ここをクリックして参加](#)

参加申込締め切り: 2020年12月2日(水)

お問い合わせ先 兵庫県立大学 産学連携・研究推進機構

電話 079-283-4560

E-mail: sangaku@hq.u-hyogo.ac.jp